

調査報告書

テーマ	市内循環バス「ていーろーど」事業実施部署への訪問調査		
訪問場所	入間市役所市民生活課	調査日	平成 19 年 5 月 16 日
訪問趣旨	<p>市内循環バス「ていーろーど」は運行 10 年目を迎え、平成 21 年にはバスの入れ替えが行われると聞いている。市民の足の 1 つである「ていーろーど」は、どうあつたらもっと使いやすい形になるか勉強会を開いて話し合っている。「ていーろーど」を中心に市民の足を今後どうしていくか、行政だけに任せるのでなしに協働していきたいと考えている。今日は、事業実施部署としての今後の予定、具体的な対応策等につき聞きたく伺った。</p>		
事業の経緯と実施部署の見解	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バス「ていーろーど」 H9.9 スタート 企画課が他市の状況を見て、入間市市内循環バス対策審議会を経て立ち上げた。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共機関を結ぶアクセスを確保することを主目的とする。(通勤、通学用ではない。) 2. 高齢者、交通弱者を配慮する。→ 無料パスを発行する。 3. 既存路線バスと競合しない。→ 審議会でコース、料金も決めた。 ・当初 5 年間はバスの減価償却もあり、現在に比べ、予算が大きかった。各方面からいろいろな意見を伺っている。廃止も含め、いろいろな意見があつてよいが、事業実施部署である市民生活課では目的等審議会の決定を見直せない。 ・一方、H21.6 以降 Nox 法で、今のバスは運行できなくなる。今年度を準備期間とし、H20 年度に新たな対策審議会を立ち上げ、秋までに下記方向付けをし、予算案を立てる。 <ol style="list-style-type: none"> ① コースの見直し ② 料金の見直し ③ 車種の選定 ・事業実施部署なので審議会を開いても今までの目的は変えられない。(もともと市民生活課は交通事故防止対策がメイン業務である。) <ol style="list-style-type: none"> 1 コイン乗車の考えもよいが、乗客数の変化予想が立たず、所沢市でも 1 コイン実施に踏み切れないでいる。特に現在無料の人の動向が読めない。 ・路線バス、循環バス、シャトルバス、やまゆり荘バス、タクシー券など市民の足全体をみた公共交通機関のあり方あるいは見直しについては企画部門で考えると議会答弁されている。(第 5 次総合振興計画にも一部入っている。) 企画部門は早く各事業担当課を集め、調整会議などを開催し、公共交通機関のあり方あるいはいろいろな市民の足の総合政策などを詰めてほしい。そうでないと平成 21 年度の「ていーろーど」見直しに間に合わない。 		
感想	<p>事業実施部門である市民生活課では、目的等の見直しは提案できない。企画部門が早く公共交通機関のあり方について総合的な方向性を出し、各事業実施部門がそれに沿った改革をできるようにしてもらいたい、との発言が印象的だった。</p>		